

# 山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 南山、野田、玉田、三浦、福竹、松下

2. 山域／ルート 冬山合宿B班八ヶ岳赤岳主峰

3. 交通手段 車

## 4. 行動記録

<入山日 2014年1月11日 下山日 2014年1月13日>

■1月10日(金) 神戸 20:30...美濃戸口八ヶ岳山荘 1:30 (仮眠)

■1月11日(土) 美濃戸口 7:30...美濃戸山荘駐車場 8:30...赤岳鉱泉 11:25 (先行組)

テント設営 12:35...赤岳鉱泉発 13:50...中山展望台...赤岳鉱泉 15:35

テント班夕食 17:30 就寝 19:00

■1月12日(日) 赤岳鉱泉 6:15...行者小屋 6:55-7:15...地蔵の頭 8:45...赤岳山頂 10:25-

10:35...文三郎尾根分岐休憩...行者小屋 12:00-12:15...赤岳鉱泉 12:45 (13:

00) -13:40...ジョウゴ沢...赤岳鉱泉 15:00 テント班夕食 16:30 就寝 18:30

■1月13日(月) 起床 4:30 赤岳鉱泉出発 6:45...美濃戸山荘駐車場 7:45...船山十字路を経て

縦の湯(入浴) 10:00...神戸 16:30

## 5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか?

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

- ・1/11(土) 赤岳鉱泉から硫黄岳ピストンの予定であったが赤岳鉱泉着が予定より遅かったこと、天候も良くなかったことなど考慮して中山展望台までのアイゼン歩行練習に変更する。
- ・1/12(日) 赤岳登頂が早く終わったので、ジョウゴ沢の滝見学に行った。計画に無い行動だったので可能性がある場合事前に計画に入れておくべきであった。

b) 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか?

発生した場合、具体的に記す

- ・特になし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか?

- ・特になし

## 6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

- ・美濃戸口八ヶ岳山荘に仮眠したが先着が就寝中で就寝スペースを確保しにくかった。(仮眠 2000円)
- ・美濃戸山荘まで車で行ったが4輪駆動車以外は無理である。
- ・地蔵尾根上部のナイフリッジは慎重に通過すれば問題ない。念のためにロープを持参したが使うほどでもない。
- ・文三郎尾根の下降は急斜面でありスリップに注意がいる。
- ・阿弥陀南稜班との事前打ち合わせをしっかりとっておくべきであった。

報告者氏名 南山 房啓 2014年 1月26日